

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (ヴォーカリストコース)											
バンドヴォーカル3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	山路、平山			実務経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
バンドとのセッション曲かつ、ヴォーカリストとして知っておくべき又は学ぶべき楽曲やpops、R&B、JAZZ等様々なジャンルの楽曲でリズムの取り方の違いや歌い方の違いを学び、自分の歌をブラッシュアップしていくための感性を身につける。											
到達目標											
①様々なジャンルの楽曲をカバーする事を通してリズム、メロディ、テクニックを習得し、自身のスタイルを確立する。②楽器プレイヤーとの意思疎通、グループでの演奏を通し音楽的なコミュニケーション能力を身につけることを目標としている。											
授業方法											
楽譜を配り楽曲を覚え、楽曲を聴き、歌いながら、譜面の読み方を覚えられるように指導する。ヴォーカルがどの様な歌い方をしているか等、楽曲を覚えるだけでなくアーティストの特徴やフェイク、ニュアンス等に注目し盗み歌わせる事により引き出しを徐々に増やし個性を伸ばす指導をする。一曲を2回使い、1回目で曲の理解させ、課題として持ち帰らせ歌を自分のものにしてする。											
成績評価方法											
試験20%、実技50%、平常点30%											
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	同じ音を繰り返すメロディーでニュアンスのある歌を歌える,popsの王道thebeatlesのセッション曲を歌える。										
第2回	同じ音を繰り返すメロディーでニュアンスのある歌を歌える,popsの王道thebeatlesのセッション曲を歌える。										
第3回	邦楽のアップテンポリズムを歌えるようになる。メロディーを覚えることができる。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (ヴォーカリストコース)	
バンドヴォーカル3	
第4回	邦楽のアップテンポリズムを歌えるようになる。ニュアンスを習得する。
第5回	SOUL曲でバンドセッションを行いながらリズムを習得する。
第6回	SOUL曲でバンドセッションを行いながらリズムを習得する。
第7回	8分くいの英語歌詞を歌えるようにする。女性ボーカルの王道キャロルキングを歌える。
第8回	8分くいの英語歌詞を歌えるようにする。女性ボーカルの王道キャロルキングを歌える。
第9回	不定形コード進行、シンコペーション、リンキングの英語発音を歌える。男性ボーカルの王道スティービーワンダーを歌える。
第10回	不定形コード進行、シンコペーション、リンキングの英語発音を歌える。男性ボーカルの王道スティービーワンダーを歌える。
第11回	グルーヴとは何なのかをバンドセッションを行いながら習得する。
第12回	グルーヴとは何なのかをバンドセッションを行いながら習得する。
第13回	前期のまとめ①
第14回	前期のまとめ②
第15回	前期のまとめ③